

## 2 来日外国人による犯罪

平成13年中の来日外国人の刑法犯検挙状況を見ると、検挙件数は1万8,199件、検挙人員は7,168人で、前年に比べ、検挙件数は4,748件(20.7%)減少し、検挙人員は839人(13.3%)増加している(図表1-20)。

### (1) 刑法犯罪種別の検挙状況

平成13年中の来日外国人刑法犯を罪種別に見ると、前年に比べ、凶悪犯の増加が目立っている(図表1-20)。

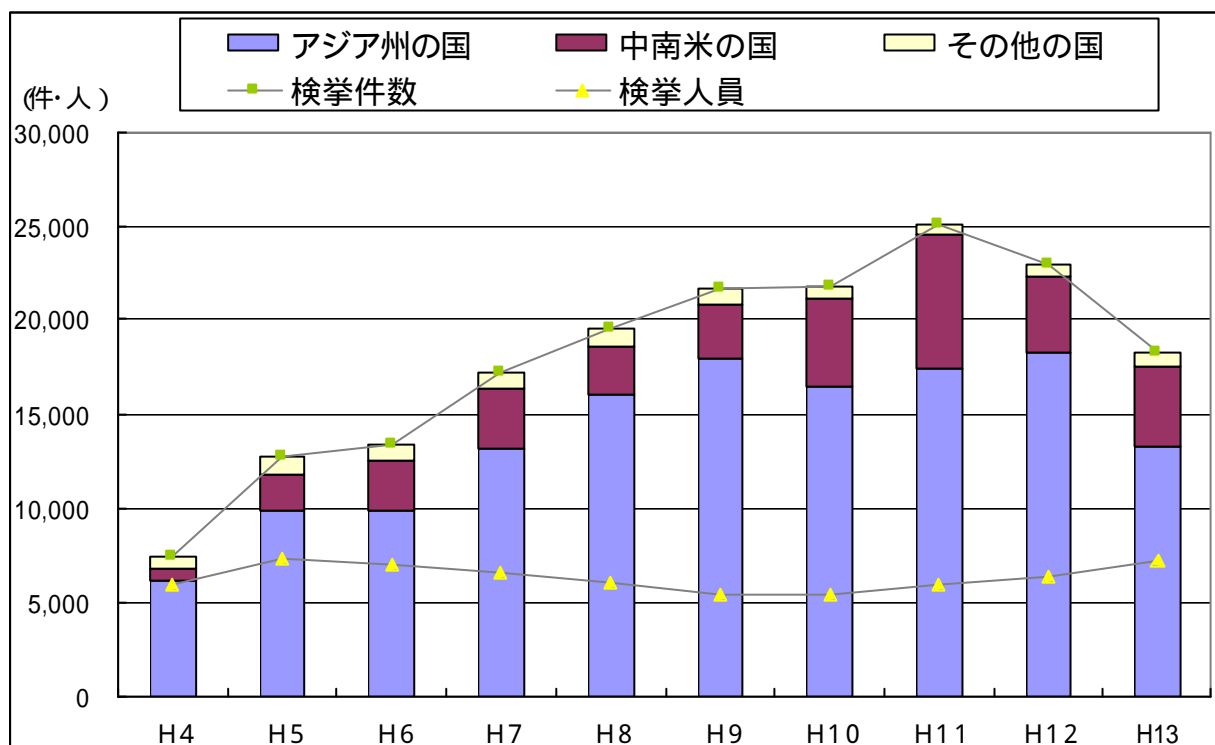
図表1-20 来日外国人の刑法犯包括罪種別検挙状況の推移

年次 区分		平 9	平 10	平 11	平 12	平 13	増 減	
							(人・件)	(%)
総 数	件数	21,670	21,689	25,135	22,947	18,199	4,748	20.7
	人員	5,435	5,382	5,963	6,329	7,168	839	13.3
凶悪犯	件数	187	228	267	242	308	66	27.3
	人員	213	251	347	318	403	85	26.7
粗暴犯	件数	265	272	282	494	508	14	2.8
	人員	313	305	338	568	578	10	1.8
窃盗犯	件数	19,128	19,078	22,404	19,952	14,823	5,129	25.7
	人員	3,155	3,098	3,404	3,803	4,135	332	8.7
知能犯	件数	680	740	523	819	643	176	21.5
	人員	305	319	264	277	267	10	3.6
風俗犯	件数	93	107	79	85	95	10	11.8
	人員	173	169	150	122	133	11	9.0
その他	件数	1,317	1,264	1,580	1,355	1,822	467	34.5
	人員	1,276	1,240	1,460	1,241	1,652	411	33.1

(2) 国籍別の検挙状況

州別の検挙状況を見ると、アジア州の国の占める割合が高く、検挙件数で1万3,245件、検挙人員で5,160人とそれぞれ全体の72.8%、72.0%となっている。国籍別の検挙状況では中国の割合が最も高く、検挙件数は9,491件（全体の52.2%）、検挙人員は3,343人（全体の46.6%）となっている（図表1 - 21、22、23）。

図表 1 - 21 来日外国人による刑法犯検挙状況の推移



年次 区分	平 4	平 5	平 6	平 7	平 8	平 9	平 10	平 11	平 12	平 13
検挙件数	7,457	12,771	13,321	17,213	19,513	21,670	21,689	25,135	22,947	18,199
検挙人員	5,961	7,276	6,989	6,527	6,026	5,435	5,382	5,963	6,329	7,168

図表 1 - 22 来日外国人の国籍別刑法犯検挙件数の比較

州 別	区 分 国 籍	平 12		平 13		増 減	
		件 数	構成比(%)	件 数	構成比(%)	件 数	(%)
ア ジ ア 州	韓 国・朝 鮮	2,039件	8.9	1,147件	6.3	892	43.7
	中 国	14,331	62.5	9,491	52.2	4,840	33.8
	イ ラ ン	100	0.4	271	1.5	171	171.0
	インドネシア	72	0.3	47	0.3	25	34.7
	スリランカ	23	0.1	36	0.2	13	56.5
	タ イ	125	0.5	83	0.5	42	33.6
	パキスタン	93	0.4	178	1.0	85	91.4
	フィリピン	375	1.6	370	2.0	5	1.3
	ベトナム	501	2.2	688	3.8	187	37.3
	マレーシア	211	0.9	261	1.4	50	23.7
	ミャンマー	39	0.2	66	0.4	27	69.2
	小計(その他含む)	18,201	79.3	13,245	72.8	4,956	27.2
ヨ ー ロ ッ パ 州	イ ギ リ ス	120	0.5	51	0.3	69	57.5
	フ ラ ン ス	19	0.1	10	0.1	9	47.4
	ロ シ ア	153	0.7	241	1.3	88	57.5
	小計(その他含む)	392	1.7	362	2.0	30	7.7
南 北 ア メ リ カ 州	ア メ リ カ	160	0.7	183	1.0	23	14.4
	コ ロ ン ビ ア	24	0.1	249	1.4	225	937.5
	ブ ラ ジ ル	3,273	14.3	3,457	19.0	184	5.6
	ペ ル ー	482	2.1	425	2.3	57	11.8
	小計(その他含む)	4,237	18.5	4,466	24.5	229	5.4
ア フ リ カ 州		60	0.3	78	0.4	18	30.0
オ セ ア ニ ア 州		57	0.2	46	0.3	11	19.3
無 国 籍・国 籍 不 明		0	0.0	2	0.0	2	——
総 計		22,947	100.0	18,199	100.0	4,748	20.7

(注1) 構成比は各項目ごとに小数点以下第2位を四捨五入。

図表 1 - 23 来日外国人の国籍別刑法犯検挙人員の比較

州 別	区 分 国 籍	平 12		平 13		増 減	
		人 員	構成比(%)	人 員	構成比(%)	人 員	(%)
ア ジ ア 州	韓 国・朝 鮮	603人	9.5	600人	8.4	3	0.5
	中 国	3,111	49.2	3,343	46.6	232	7.5
	イ ラ ン	64	1.0	68	0.9	4	6.3
	インドネシア	35	0.6	43	0.6	8	22.9
	スリランカ	23	0.4	26	0.4	3	13.0
	タ イ	85	1.3	71	1.0	14	16.5
	パキスタン	56	0.9	57	0.8	1	1.8
	フィリピン	241	3.8	243	3.4	2	0.8
	ベトナム	377	6.0	469	6.5	92	24.4
	マレーシア	40	0.6	50	0.7	10	25.0
	ミャンマー	29	0.5	25	0.3	4	13.8
	小計(その他含む)	4,804	75.9	5,160	72.0	356	7.4
ヨ ー ロ ッ パ 州	イ ギ リ ス	33	0.5	48	0.7	15	45.5
	フ ラ ン ス	18	0.3	11	0.2	7	38.9
	ロ シ ア	150	2.4	204	2.8	54	36.0
	小計(その他含む)	270	4.3	325	4.5	55	20.4
南 北 ア メ リ カ 州	ア メ リ カ	102	1.6	106	1.5	4	3.9
	コ ロ ン ビ ア	27	0.4	76	1.1	49	181.5
	ブ ラ ジ ル	682	10.8	958	13.4	276	40.5
	ペ ル ー	261	4.1	326	4.5	65	24.9
	小計(その他含む)	1,156	18.3	1,565	21.8	409	35.4
ア フ リ カ 州		56	0.9	66	0.9	10	17.9
オ セ ア ニ ア 州		43	0.7	50	0.7	7	16.3
無 国 籍・国 籍 不 明		0	0.0	2	0.0	2	—
総 計		6,329	100.0	7,168	100.0	839	13.3

(注1) 構成比は各項目ごとに小数点以下第2位を四捨五入。

(3) 凶悪犯の検挙状況

平成13年における来日外国人による凶悪犯の検挙件数は308件、検挙人員は403人で、前年に比べ、検挙件数で66件（27.3%）、検挙人員で85人（26.7%）それぞれ増加しており、特に強盗は、それぞれ55件（33.5%）、73人（30.9%）増加している(図表1 - 24)。

図表1 - 24 来日外国人の凶悪犯検挙状況の推移

年次		平 9	平 10	平 11	平 12	平 13
区 分						
殺 人	件数	69	52	41	44	45
	人員	83	62	50	54	59
強 盗	件数	87	130	195	164	219
	人員	103	160	278	236	309
放 火	件数	14	3	12	6	10
	人員	11	3	1	6	11
強 姦	件数	17	43	19	28	34
	人員	16	26	18	22	24
合 計	件数	187	228	267	242	308
	人員	213	251	347	318	403

凶悪犯を加害態様別にみると、被疑者と同国籍の外国人に被害を加えた被疑者は構成比で20.3%、被疑者と異国籍の外国人に被害を加えた被疑者は3.2%、日本人に被害を加えた被疑者は76.4%となっている。これを罪種別にみると、特に強盗において、日本人に被害を加えた被疑者の割合が高く80.9%を占めているほか、殺人では49.2%、放火では90.9%、強姦では79.2%となっている(図表1 - 25)。

図表1 - 25 罪種別来日外国人の凶悪犯加害態様別の比較

(単位：人)

態 様	被疑者の犯した罪種					合 計
	殺 人	強 盗	放 火	強 姦		
被疑者と同国籍の外国人に被害を加えた被疑者	平12	3 4	4 4	1	2	8 1
	13	2 8	4 9	1	4	8 2
被疑者と異国籍の外国人に被害を加えた被疑者	平12	3	7	0	3	1 3
	13	2	1 0	0	1	1 3
日本人に被害を加えた被疑者	平12	1 7	1 8 5	5	1 7	2 2 4
	13	2 9	2 5 0	1 0	1 9	3 0 8
合 計	平12	5 4	2 3 6	6	2 2	3 1 8
	13	5 9	3 0 9	1 1	2 4	4 0 3

#### (4) 来日外国人による組織犯罪

来日外国人による犯罪は、組織化の傾向が見られる。平成13年の共犯事件の割合は、前年に比べると6.4ポイント上昇している。来日外国人犯罪の組織化は、国内に居住する不法滞在者等のグループ化と、外国に本拠を置く国際犯罪組織の活動がある。平成13年には、身の代金目的誘拐事件、組織的な窃盗事件、地下銀行事件等が見られ、また、これらの犯罪の中には、暴力団が関与した事件も見られる。

図表1 - 26 共犯の有無による犯行形態の推移

区分 \ 年次	平 9	平 10	平 11	平 12	平 13
検挙件数	21,670	21,689	25,135	22,947	18,199
うち)共犯あり	12,408	9,349	11,659	11,363	10,177
割合	57.3	43.1	46.4	49.5	55.9

#### ア 身の代金目的略取・誘拐事件

平成13年には、来日外国人による身の代金目的略取・誘拐事件は3件検挙している(図表1 - 27)。

図表1 - 27 来日外国人による身の代金目的略取・誘拐事件の検挙状況の推移

区分 \ 年次	平 9	平 10	平 11	平 12	平 13
検挙件数	3(3)	3(3)	4(4)	6(3)	3(3)
検挙人員	32(32)	10(10)	11(11)	13(7)	6(6)

(注) ( )内は、中国人(中国系マレーシア人等を含む。)による件数、人員である。

#### 【事例】 新宿区内における中国人女性被害身の代金目的略取事件(警視庁)

中国人の男(40)は、他数名と共謀の上、5月13日、新宿区内において営利の目的で中国人女性を車で連れ去り、被害者の親戚に現金250万円の身の代金を要求した(5月14日検挙)。

#### イ 組織的な強盗事件

来日外国人グループによる屋内緊縛強盗をはじめとする強盗事件が発生している。

#### 【事例1】 中野区内における緊縛強盗事件(警視庁)

中国人の男(36)は、他数名と共謀の上、2月27日、中野区内の民家に押し入り、在宅していた家人をガムテープで緊縛した上、現金1億円他を強取した(5月23日検挙)。

#### 【事例2】 韓国エステにおける緊縛強盗事件(警視庁)

中国人の男(31)は、他数名と共謀の上、6月6日、大田区内の韓国エステにおいて、同店の経営者らに対してナイフ様の刃物を突きつけ、ガムテープで緊縛した上、キャッシュカード等を強取するとともに、強取したキャッシュカードを用いて銀行から現金約238万円を窃取した(7月26日検挙)。

## ウ 組織的な窃盗事件

来日外国人による組織的、広域的に敢行される窃盗事件が発生している。

### 【事例】中国人グループによるピッキング使用窃盗事件（埼玉、愛知、宮城）

中国福建省出身者等による窃盗グループは、ピッキング用具を用いて東北から中部地方の広域にわたり、組織的に強窃盗を敢行していた。平成13年8月までに、被疑者16人、3管区1都8県にわたる強窃盗事件212件（被害総額7,813万円相当）を検挙、解決した。

## エ その他

### 【事例】中国人によるJR八王子みなみ野駅における刃物使用殺人未遂事件（警視庁）

中国人の男（23）は、他1名と共謀の上、5月1日、JR八王子みなみ野駅において、殺意をもって刃物で同駅員の胸部を刺した（6月10日検挙）。